新校舎に向けて

平成22年度は宮川高校と本校との統合を契機に、新校舎の整備を進めます。

新校舎は、食物調理科の実習室と300名を収容できる多目的教室が配備されます。

武道場周辺を建設予定地として、平成22年8月に着工、平成23年3月竣工の予定です。

平成21年度は、この新校舎の建築準備として建設予定地にあった自転車置き場を解体し、新たに環境創造科棟周辺に自転車置き場を建築しました。

また、国・三重県の緊急経済対策の一環として、地上デジタル放送への切り替え、環境創造科に40数台のパソコンを備えたパソコン教室の整備、食物調理科にプレハブ冷蔵庫などの整備を行い、学習環境の改善を図りました。（村木）

新自転車置き場

各科近況報告

普通科

昨年度の同窓会報誌20号でもご紹介しましたが、平成22年度の宮川高等学校との統合による「新生」相可高等学校では、生徒の夢をかなえるため、普通科においても様々な取組が始まりました。

カリキュラムにおいては、生徒が興味・関心、将来の進路希望に応じた多様な選択科目の中から学ぶことができるよう、単位制を導入しています。単位制では必履修教科・科目をなるべく1年次に履修させ、年次が進行するに従って選択の幅が広がるようにカリキュラムが作られていることから、1年目の今年はまだ単位制の特色があまり発揮されていませんが、2年目・3年目を迎えるこれからが勝負といったところです。そこでは、情報を活用する力や、コミュニケーション力、創造的な能力や実践的な態度を学ぶ、新たな学校設定教科「キャリア」を設け、幅広い進路希望に対応できるように工夫をしてまいりたいと思っています。また、生産経済科、環境創造科、食物調理科で培った実績豊かな専門教育の一部を、普通科の生徒たちも学べるよう、学科を越えた履修が可能なカリキュラムを組んでいます。

総合的な学習の時間では、「ドリーム・チャレンジ・タイム」と名付け、チューター制によるきめ細かく丁寧な支援が始まっています。チューター制とは、通常の学級を進路の系統別により小さな小グループに分けて、学級担任に副担任などを含めたより多くの教員がチューターとして指導・助言する仕組みです。

また、統合により1学級増えて4学級となった普通科では、主に国公立大学や有名私立大学を目指す「アドバンストクラス」を1学級設けました。「アドバンストクラス」では、7限目の授業や進学に関する豊富な情報提供により、生徒の進学意識を高め、学力の伸長を図っています。他の3学級ある「スタンダードクラス」でも、私立文系大学、理系大学、看護師、保育士、公務員など、一般就職などの進路希望の実現をサポートしています。

さらに課外活動では、金剛座寺（多気町）の染川智勇住職を講師に招いた手話講習会での学習成果が実り、23人の生徒と1人の教員が手話技能検定4級試験に合格するなど、学力のみならず、豊かな人間性を磨いています。

今後も、相可高校が地域から必要とされ、学力のみなら続けるため、同窓生の皆様や地域の方々のますますのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。（眞崎）

環境創造科

環境創造科は、人々が自然と共生し、人間らしい営みのできる社会基盤整備や、ゆとりのある社会基盤整備や街づくりの計画、環境保全について学びます。

また、学科の教育活動の柱となっています資格取得（測量士・測量士補・二級土木施工管理技術検定）、進路実現（進学・企業就職・公務員）には、職員一同が指導に骨身を惜しまず取り組んでいます。

さて、昨年度の本学科卒業生の資格取得および進路状況は、次のとおりです。

まず資格取得ですが、測量士に9名、測量士補に32名、二級土木施工管理技術検定21名が合格しています。特に測量士については、全国で高校生は10名しか合格しておらず、その内の9名を本校生徒で占めることができました。

次に進路先については、四年制大学へ3名（三重大2名、四日市大1名）、専門学校へ1名が進学しました。就職は企業に16名（JR西1名、近鉄1名、JR1名、シャープ1名、土木建設関連9名、その他3名）、公務員に17名（名古屋税関、中部地方整備局、中部運輸局、豊中市、長岡京市、福知山市、熊野市それぞれ1名、三重県3名、愛知県二名、松阪市三名、四日市市二2名）でした。特に、公務員の採用数は年々減少傾向にあり、狭き門となっていますが、一次試験合格者はのべ46名を数え、生徒は最後までよく頑張ってくれました。

昨年度より農業土木科を改め、新たに「環境創造科」として生まれ変わりました。卒業生の皆様と培ってきた伝統を継承しつつ、新たな時代に向け飛躍を目指していきたいと思います。日頃より同窓会並びに地元の中心とした地域の皆様には、本校の教育にご理解とご協力をいただき感謝しております。今後とも、ご指導とご支援よろしくお願いします。（村田）

食物調理科

食物調理科では、新しい「相可高校」においても、これまでの実践をさらに多気町と連携した地産地消の実践活動に取り組んでいく所存です。地元や県内の企業、団体等と協働して、地元食材を使った加工品開発の共同プロジェクトを実施したり、料理や製菓のレシピ提案、地域の保育園や小学校等との連携による地産地消の視点からの食育活動や、地元福祉施設との連携による「食」を通じた福祉交流などをますます充実した取組を目指しています。

昨年度、これまでの活動が認められ、「関西元気文化圏賞・ニューパワー賞大賞」を受賞をしました。

本年度も、「サークルKサンクス」ほか、企業とのコラボレーションや、県教育委員会の「学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業」を行い、専門高校生としてのキャリアを地域の教育力として活用し、「食体験」を通じた地域の子どもたちのキャリア教育の推進に寄与していきたいと考えています。研修施設はしましたが、惜しくも優秀賞に終わり、全国大会には出場出来ませんでした。

1年生大会（年次大会と言います）では、「農業鑑定」競技で「最優秀賞」、「意見発表」競技では同じく、「優秀賞」を手にしました。1年生から3年生まで、どの学年も、意識を高め、いかに日頃から努力を積み重ねているかがよく伝わってきます。さらに、家畜審査競技会「肉牛の部」、「乳牛の部」においても、優秀賞を獲得しました。こうした競技会だけではなく、他の活動に目を向けると、「課題研究」の作品製作班（昨年度の3年生8名）が、松阪市内教育施設へのベンチ等の設置、環境保護啓発活動等を認められ、12月に松阪市長、松阪市教育委員会教育長より感謝状を頂きました。

こうした「大きな成果」は一重に私達の実習や授業を通じ、本校教育を理解し、ご協力を頂いている地域の方々や保護者の皆様、そして何より生徒諸君の目標に対する「前向きな姿勢」が大きく結果に結びついていると思われます。4月中旬には、三重大学の梅崎教授をお招きし、伊勢イモ栽培講習会を開催しました。多気町、地元伊勢イモ生産者部会、JA多気郡の皆様方を迎え、共同研究による取り組みを続けております。昨年度からは、再分割増殖法だけでなく優良な種芋を選抜した系統栽培にも取り組んでいます。（平成22年度も実施しました）

また平成21年11月に行われた多気町共進会においては、「やすこ号」、「としの号」が出品され、さらに11月29日に行われた第60回松阪肉牛共進会に「よしなり号」が本選出場を果たし、530万円という高値でセリ落としていただきました。こうした結果も、地元の支えやご理解があってこそ、本校教育が成り立っていると感じます。

地域と共に歩み、地域の方々に愛されるためには、職員・生徒も地域の皆様に「何が出来るか」「何を提供できるのか」、といった「目指す学校像」を考えさせていただく絶好の機会でもあります。「感謝、そして謙虚」を忘れずにこれからも精進を続けていく所存です。

文末となりましたが、今後とも本校生産経済科の教育活動に温かいご声援、ご協力をよろしく御願いします。（堀内）

生産経済科

相可高等学校の同窓会の皆様におかれましては、ますますのご健勝のことと存じ上げます。平素より本校教育のために、大きな支えとなって下さり、職員一同心より御礼申し上げます。

さて、本稿を書かせていただくにあたり、毎年のように感じることがあります。それは、「生産経済科の生徒諸君達が、一年間にたくさんの取り組みをしてきたんだなぁ。」という思いです。今回、私なりに同窓会の皆様に昨年度の生徒諸君の「活躍」ぶりをご紹介したいと思います。

まず三重県産業教育振興会主催「三重県産業教育に関する作文コンクール」に見事、農業部会長賞を受賞することが出来ました。その作文が、全国審査会に出品・審査され、「佳作」（ベスト8）を受賞し、生徒自身も今後の「目標」につながる大きな支えとなりました。また、研究文部門においては、「伊勢イモの再分割増殖法の確立」～真実に向けた4年間の歩み～として、6名のチームが農業部会長賞を受賞、作文部門・研究文部門とともにダブル受賞となりました。

さらに、平成22年1月に行われた三重県学校農業クラブ連盟主催のプロジェクト発表会において、「文化・生活」部門、「環境」部門において、「最優秀賞」を獲得しました。

プロジェクト発表以外においても、意見発表「区分食料・生産」部門で三重県「最優秀賞」、「区分文化・生活」部門でも三重県「優秀賞」を獲得しました。昨年夏の東海大会に出場しました。

「まごの店」も、6年目を迎え、いつも行列ができるほどの盛況ぶりです。製菓（食文化）コースの「まごスイーツ」も毎週2時間で完売するほどです。これも、同窓生の皆さまや地域の方々のご支援によるものと感謝しています。

資格取得においては、専門調理師技術考査、製菓衛生師国家試験、ふぐ取り扱い資格、サービス接遇検定などの全員合格を、コンクールにおいても、昨年の「全国高校生料理コンクール」で最優秀賞、「シーフード料理コンクール」農林水産大臣賞受賞、「全国高校生食育王選手権」優勝に引き続き全国優勝を目指して、ますます元気な「食物調理科」であり続けるよう、生徒、職員一丸となって取り組みます。

進路につきましては、進学22名、（四大7名）、短大4名、専門学校11名）、就職17名で、9割が調理・製菓関係に進みました。

同窓会の皆様におかれましては、今後とも食物調理科の教育活動にご理解をいただき、ご支援のほどよろしくお願いいします。（奥田）

同級会通信

昭和24年・25年卒

私達は終戦後の昭和21年に入学しましたが、学制改革の波に巻き込まれ旧制で卒業する者と新制高校に編入する者とに分かれました。

今回の同窓会は平成21年8月4日に松阪のフレックスホテルで開催され25名の参加がありました。

宴の始めはひとしきり母校の目覚ましい発展の様子に感嘆しきりでした。そのうち、60年前にタイムスリップし、年輪を重ねた友の顔の奥に相可高校時代の悪童の顔が甦ってきました。そして、あの木造の老朽校舎や仮校舎が眼前に浮かんできました。そこには軍国主義から解放された底抜けに明るい自由闊達な学園生活がありました。正に「ボロは着てても心の錦」でした。

懐旧談に花を咲かせ、老友の健康を気遣いながら再会を約して散会しました。（長井）

松阪フレックスホテルにて

昭和28年卒

昭和28年第5回卒業生の同窓会を清少納言ゆかりの「七栗の湯」で名高い榊原温泉「榊原館」にて平成21年9月15日に開催しました。

ご多忙の中恩師2名を含め49名の参加を得て「会いたかったぜ3年振りや」と再会のエールを交わし、また、品良く齢を重ねて若いぜ」等とお世辞も込めて声かけし合い「同級生愛」に浸りながら語り、飲み且つ唄い、時の過ぎるのを忘れました。

最後に懐かしの青春歌「青い山脈」を全員が肩を組み手を叩き、大合唱して打ち上げました。

翌日は青山高原の「風車」を見学し伊勢平野を一望し「次回まで生き長らえて再会するんやぞ。」と誓約して別れとしました。（折戸）

榊原館にて

昭和36年卒

3Cクラス20名は、10月29～30日、「ふよう荘」にて、第18回目のクラス会を行いました。

2次会では全員部屋に集まり夢や思い出を語り、高二の伊勢湾台風の貴重な体験、入学前の秋祭火災の事など、記録に残したいほどの話題で盛り上がりました。（山崎）

ふよう荘にて

クラブ紹介

放送部

放送部は現在9名で活動をしております。学校行事の司会や撮影、番組制作を始め、松阪ケーブルテレビへの番組提供、吹奏楽部の定期演奏会の司会進行など様々な場面で日々の活動の成果を発揮させて頂いております。昨年は放送部の甲子園とも言えるNHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会のテレビドキュメント部門において優秀賞を頂き、東京で行われた全国大会に出場しました。また朗読部門では部長が奨励賞を受賞しました。

今年度はテレビドキュメント部門、朗読部門に加え、テレビドラマ部門やアナウンス部門にも挑戦し県大会入賞また全国大会入賞目指部活動作や練習に取り組んでいます。

さて、放送部の活動と言いますと撮影をしたり司会をしたりと一見華やかそうに見えますが、実はとても体力が必要で毎日の基礎体力づくりは欠かせません。取材に行くとなれば重い機材を持って走り回らなければなりませんし、司会やアナウンスをする為には腹筋背筋を鍛え、腹の底から声を出す「腹式呼吸」をマスターしなくてはなりません。

「放送部なのに体力づくり？」と疑問を持っていた部員たちも、今では毎日基礎体力づくりに励んでいます。3棟4階の化学実験室の窓から櫛田川に向け腹の底から大きな声を出し発声練習に取り組む姿を見ると嬉しくなります。

また部員たちは数多くの番組づくりや司会を経験する事で、自ら学び考え行動する力やコミュニケーション能力が身に付いてきたように思います。人の話に耳を傾け、情報をまとめ、自分の思いを言葉にし、丁寧に伝えていく力は社会に出てからも必ず役に立ちます。自身が持つ能力を最大限に発揮できるよう、日々努力し成長してくれる事を期待しこれからも放送部の活動を続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、同窓会の皆様、今後とも放送部の活動に変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。（徳田）

90周年の築山を移設

統合による新校舎建設の為、建設予定地となった90周年の築山を1・2棟間の中庭西側へと去る2月24日に移設しました。

元からあった樹木と石を使い新しく甦りました。学校へお越しの際にはご覧になってみて下さい。（深田）

【お知らせ】

本校卒業生で同窓会を開催されます時は通信費の半額補助を行っています。領収書を持参の上、事務局までお申出下さい。

【あとがき】

例年にないくいつまでも寒い日が多い年でしたが、同窓会員の皆様におかれましては各地でご健勝のことお喜び申し上げます。

本年4月に宮川・相可の統合に伴い新「相可」高校が開校しました。制服も新しくなりました。新校舎は工事中ですが、7月に開催の総会には皆様お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

相可高校の益々の発展を願い、今後とも卒業生の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。（深田）